



SOKA University



PASCAL入試
チャレンジプログラムが
スタート!

進化した入試が 成長力を引き出す。

- ▶ PASCAL入試の募集人員を合計150名に拡充!
- ▶ 新・育成型「PASCAL入試チャレンジプログラム」を提供!

変わる社会で、今後に求められる力とは？

最適な成長へと導く、教育の進化

グローバル化やAI(人工知能)技術が進展する中で、社会が求める人材像や大学で身につけるべき力も変化しています。創価大学は、世界的視野に立ち、学生一人ひとりの可能性を今後の社会に最適化するかたちで伸ばしていきます。

更に、学生の成長を促すために入試が変わります！
詳しくは、次ページをご覧ください

● 今後に求められる人物像

● 時代を先駆ける創 価大学の教育

従来型のキャリアにとらわれない人

高度情報社会の進展により、産業構造が変化し、新しいビジネスモデルが生まれる一方、従来の職業がなくなるなど、社会が転換期を迎えています。

こんな力が求められている

終身雇用を見直し、多様な働き方を導入する企業が増えています。人生100年時代、生涯を通じて、自分で自分のキャリアをデザインする必要があります。

一人ひとりの 生き方に寄り添う キャリア教育

4年間を通じてバリエーション豊富な キャリア教育科目を開講

将来への具体的な目標設定と行動計画を先輩学生との面談などを通して考える「キャリアデザイン基礎」、さまざまな業界の第一線で活躍する卒業生を講師に迎える「キャリア開発フォーラム」、世界を舞台に活躍したい学生のための「ワールドビジネスフォーラム」ほか、幅広いキャリア教育科目を設けています。

入学前から 自分自身のキャリアに向き合う

2023年度入試より導入する「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、キャリア科目専任教員などによる自己分析講座を経て、学生が将来の進路や職業を描き、その実現に向けた大学での学びを計画します。さらに先輩学生とのグループ面談を行い、学びのイメージを具体的に広げる機会をもちます。

人間にしかない能力を生かせる人

AI(人工知能)技術の活用により、これまで人間が担っていた定型的(繰り返し)作業や危険な作業を機械で代替することが可能になります。

こんな力が求められている

独創性のある発想や、臨機応変な対応、前例にとらわれない思考、人に寄り添う心など、人間にしかない能力を高め、発揮することが必要です。

これからの 時代に合わせた 能力の育成

グループワークを重視した アクティブラーニングを実践

創価大学では、すべての学部においてアクティブラーニングを実践しています。特に、グループで取り組むLTD*方式を重視し、SDGsの課題などにチームで解決に取り組む学びを多く取り入れています。

*Learning Through Discussion=話し合い学習法

ビッグデータの活用を可能にする データサイエンス教育を提供

ビッグデータを分析・活用し、新たな価値を創造するために、数理的なスキルの習得と、文理融合の視点で問題発見・解決を行う力を身に付ける「データサイエンス科目」を全学必修化。

LTD体験を通して入学前から 思考力・判断力・表現力を磨く

2023年度入試より導入する「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、予習内容を発表し、話し合う機会を通じ、思考力・判断力・表現力を磨き、チームワークを高めるためのコミュニケーション能力を身につけます。

多様性を理解して、協働できる人

グローバル化により、異文化理解を必要とする交流の機会が増えています。また、人と協働することなしには乗り越えられない複雑な課題が増えています。

こんな力が求められている

多様な人々と尊重し合い、互いに協力して問題解決を図るために、異文化理解力と外国語運用能力を含めたコミュニケーション力が必要です。

グローバル教育と ダイバーシティへの 取り組み

国際社会で活躍できる グローバル教育プログラムが充実

「ワールドランゲージセンター」では10カ国以上の言語学習プログラムを提供。また国際社会で活躍する能力を身に付ける「グローバルシティズンシップ・プログラム(GCP)」など、学部横断型のプログラムも充実しています。

留学生や社会人と共に学び 交流できるキャンパス

世界62カ国・地域、225大学(2020年5月末現在)のネットワークを持ち、現在55カ国・地域から約700人の留学生が学んでいます。また、ダイバーシティへの取り組みを実践し、キャンパス内で多様な人々と共に学び、交流できます。

LTD体験を通して入学前から 多様性・協働性を磨く

2023年度入試より導入する「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、人の意見を聞き、理解・発展させ、新たなコンセンサスを得る作業を通じ、多様性・協働性を磨き、多様な価値観に対応する力を身につけます。

各学部・学科でPASCAL入試の 募集人員を拡充します。

106名から
2023年度
150名に!

PASCAL入試とは

文部科学省では、学力の3要素を多面的・総合的に評価する総合型選抜の実施を推進しています。創価大学では、2018年度入試より「PASCAL入試」を導入し、学力の3要素、すなわち、①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を重視した選抜を行っています。2023年度入試からは、さらに定員を拡充して実施します。

スケジュール(予定)

出願期間: 2022年9月1日(木)~9月8日(木) (締切日消印有効)
一次選考: 合格発表日 / 2022年9月27日(火)
二次選考: 2022年10月15日(土)・10月16日(日) ※選考はいずれか1日になります。

選考方法・選考日程(二段階選考)

●第一次選考(200点)

<書類審査>


調査書



自己推薦書*



出願要件・
資格等証明書類

*本学所定の用紙 800字以上 1000字以下
国際教養学部は英文タイピングで記入してください。
(単語数は450語以上 550語以下)

●第二次選考(140点[うち50点は第一次選考×0.25])

第一次選考合格者に対し下記の選考を行います。


LTD*方式のグループワーク
(1グループ4~6名)
※Learning Through Discussion


個別面接

受験生は事前に「予習教材」を学習し、本学ホームページで公開している「LTDガイダンス映像」を参考に、「予習ノート」を作成のうえ、第二次選考に臨みます。

実施学部

経済学部: 経済学科
経営学部: 経営学科
法学部: 法律学科
文学部: 人間学科
教育学部: 教育学科
児童教育学科
看護学部: 看護学科
国際教養学部: 国際教養学科

※理工学部は、2023年度入試より新たな選抜方式で「PASCAL入試」を実施する予定です。

詳細は大学HP
「入試のきほん」から
ご確認ください。



入学前から学びを支援する
新・育成型「PASCAL入試チャレンジプログラム」がスタート

育成型 プログラムを 提供します。

チャレンジプログラムの
修了者は、出願資格の
学習成績の状況(評定平均値)が
3.5以上から3.0以上に緩和されます。

より多くの受験生にPASCAL入試に
挑戦してもらえるよう、
PASCAL入試で求められる力を養うための
育成型プログラムを導入します。
プログラムの修了生は出願要件の
学習成績の状況(評定平均値)が
緩和されます。

全オンライン講座で開講「PASCAL入試チャレンジプログラム」

▶入試で評価する 2つの力 を育みます

「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、PASCAL入試で評価する学力の3要素のうち、2つの力をLTD体験とキャリアプランニングで育成します。LTD体験のグループワーク、およびキャリアプランニングを通し、「思考力・判断力・表現力」を向上させ、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を育みます。

- ① **思考力
判断力
表現力** 問題を発見し、他者と共有しながら、必要な知識や方法を活用して、多様な考えを統合して解決へと導く。
- ② **主体性
協働性** 自己の資質や能力をどのように高め、どのように他者や社会と協働し、よりよい人生を送るかを考える。

▶大学入学後の学びに直結します

「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、全てオンライン講座で全国どこからでも参加可能です。学習成績の状況(評定平均値)が3.5を満たすと想定できる方は、必ずしもこのプログラムに参加する必要はありませんが歓迎します。大学の授業でも求められる学習法を体験でき、進学への目的意識がより明確になるため、入学後の学びにも直結します。

プログラム実施内容 / 実施期間: 2022年3月下旬~8月

LTD体験

必修

- LTDとは
アクティブラーニングの手法の一つで、Learning Through Discussion=話し合い学習法のことです。創価大学では各学部の多くの授業で採用されています。
- 実施概要
予習教材を通読し、「LTDガイダンス映像」にそって予習ノートを作成し、LTDを体験します。LTD実施後は、個々に振り返りを行って「リフレクションシート」を提出します。

キャリアプランニング

必修

- キャリアプランニングとは
自分の能力と経験を洗い出し、自身の潜在的な目的意識や嗜好性を発見します。そのうえで、大学での学びの意味や学部の志望について考えを深めます。
- 実施概要
オンライン配信による「自己分析講座」を受講し、ワークシートにまとめます。また、現役学生の先輩によるグループ面談を行い、大学での学びのイメージを具体化します。

オープンキャンパス または Campus Academic Visit* への参加

※いずれかに1回以上参加する
(オンライン参加含む)

選択
必修

*祝日の授業実施日に、実際のリアルな授業を体験できるイベント

PASCAL入試 チャレンジプログラム 募集要項

2022年1月17日(月)より募集開始

- 申込資格
高等学校等を2022年度卒業見込の者
- 募集人員
200名
※人数を超える場合は選考します
- 応募方法
エントリーシートをWEBにて入力(志望動機など)

※学習成績の状況(評定平均値)など成績は問いません。
※理工学部はPASCAL入試チャレンジプログラムの対象外です。

▼詳細はこちら



私たちがPASCAL入試を「選んだ理由」と「実感している成長」をお話しします。

入試の準備そのものが視野を広げる期間になった



経済学部 / 経済学科1年
ニキータ・ドゥディン
Nikita Dudin, Mikhailovich

— パスカ入試を受験したきっかけ

将来は多言語を活用し、国際的な仕事に就きたいと高校時代からイメージしていました。そのために早く大学合格を決め、中国語に触れたり、国際関係の書籍を読んだり、大学の学びに備える時間をつくりたいと考え、秋に入試が行われるPASCAL入試に注目しました。

— 受験の際に意識したこと

自分の意見について筋道を立て、論理的に人に伝えることを課し、人の意見が自分とどう違うのか、共通点はあるかなど、すべて分析的に整理して考えるクセをつけました。そして、それが実際にできているかどうか、高校の先生、友人、家族に頼りてリハーサルを何度も繰り返して、本番の「LTD」ではグループでの活動であることを意識し、リーダーシップをとりました。

— 入試を通じて成長できたこと

LTDの議論で使用する予習教材の課題について理解を深めるために、自分で多くのリサーチを行いました。結果的にPASCAL入試の準備そのものが、大学の学びに備える知識を蓄え、国際社会への視野を広げることになりました。

— 大学生活での成長

正解がない問いに対して、多角的な視点から考える経験を通して、思考の深まりを感じています。また、私はインターナショナル・プログラム(IP)という英語で経済学を学ぶクラスに参加しています。英語で資料を読み、英語を使ってレポートやエッセイを書くことを通して、アカデミックな英語力が磨かれると同時に、さまざまな社会課題に対し、自分の意見を発信できるようになりました。その基盤はやはりPASCAL入試にあったと感じています。

簿記の資格をステップに公認会計士をめざして進学



経済学部 / 経済学科3年
岩尾 優平さん

— パスカ入試を受験したきっかけ

私は商業高校に通っていたので、大学受験にあたり一般的な学力試験よりも、日頃の成績や簿記の資格、部活動への取り組みが評価される入試が有利だと考え、PASCAL入試の受験を決めました。

— 受験の際に意識したこと

何のために大学に行くのか、大学を卒業後にどんな自分でいたいのか、あらためて自分に問いました。その結果、高校時代は授業の一環として挑戦した簿記の資格をステップとして、さらに上の資格をめざしたいという展望が見えました。そうした決意をしっかりと伝えられるよう、高校の先生と何度も面接練習を繰り返しました。その結果、自分自身がめざすキャリアプランが明確になり、高い目標に向かって努力する心構えができました。

— 入試を通じて成長できたこと

「LTD」に関しては、事前の情報収集の大切さを学びました。また、人前で意見を述べることに苦手意識があったのですが、ディスカッションを通じて、自分の意見を伝える楽しさや手応えを感じるようになりました。

— 大学生活での成長

公認会計士国家資格の取得を目標に、学内の「会計税務教育センター」に通っています。勉強の本質は自分自身に対する挑戦であると、深く実感しています。難関試験の合格には計画的な学習の継続が必要です。時には自分自身の弱さと闘わなければなりません。しかし、PASCAL入試を通して、自らのキャリア設計と真剣に向き合い、自分で決めたことなので、モチベーションを維持して、長い受験勉強を乗り越えていきたいと考えています。

— パスカ入試を受験したきっかけ

オープンキャンパスで、PASCAL入試の選考の一つである「LTD」を体験するグループディスカッションに参加しました。それまで議論を通して学ぶ機会があまりなかったのが、全国から集まった仲間と対話をしながら、学びを深め合うことに新鮮な喜びを感じました。人と話し、異なる考えを知り、自分の考えも深まるのが楽しく、その後、機会あるごとに5回も通ったほどです。

— 受験の際に意識したこと

「LTD」では、予習教材を深く読み込み、自分の最も言いたい意見を導き出すことを意識しました。面接に関しては、何のために創価大学に入学し、どんな力を身に付けたいのか、キーワードを書き出して整理しました。

— 入試を通じて成長できたこと

「LTD」体験会では、課題に対してグループの意見がなかなかまとまらないこともありましたが、その際、どの意見が良い悪いと決めつけるのではなく、それぞれの意見を尊重して対話することが、新たな視点で考えることにつながり、さらに良い意見を生み出せることを経験しました。PASCAL入試で鍛えられる力は、多様な人々と共生をめざす社会において必要とされるベーシックな力だと感じます。

— 大学生活での成長

学びを通して知った課題に対し、自分たちができることは何かを考え、実際に行動に移す力が身に付いてきたと感じます。現在は、人権問題に関心を持っていますが、SNSを通じた情報共有や、学外のオンラインイベントに参加するなどして、さらに学びを深めています。



私立クラーク記念国際高等学校出身
水野 さづかさん
法学部 / 法律学科2年

対話しながら、考えが深まる
新鮮な喜びが学びの原動力に

— パスカ入試を受験したきっかけ

高校受験の際に長期入院を経験したため、定時制高校に進学しました。それ以降、生徒会活動、部活動、資格の取得、海外派遣事業など、目の前のチャンスには積極的に挑戦し、努力してきました。そうした頑張りアピールできる入試としてPASCAL入試を知りました。

— 受験の際に意識したこと

入学後、そして4年後、自分はどうなっていたいのか、そのためにはどうすればよいのか、目標を明確にすることを大切にしました。実は創価大学の受験を決めた際、最初から周囲の理解を得られたわけではありませんでした。ですが、自分自身のめざしたいことをハッキリさせていたため、情熱を持って志望理由を語る事ができ、周囲に納得してもらうことができました。

— 入試を通じて成長できたこと

私の「LTD」のグループは、話し合いがとても盛り上がり、6人中5人が合格しました。この成功体験の共有が自信につながり、入学後も、グループで討論をする際には積極的にグループをまとめる役割を引き受けています。

— 大学生活での成長

グループをまとめる際に心掛けていることは、メンバーの意見を引き出すことです。一人ひとりの個性を大切にすることにやりがいを感じますし、対話を通じ、4年間でかけがえのない仲間を得ることができました。中国留学時にグループ長として、パキスタン、イラン、ウクライナといった国籍の異なるメンバーと1つのプレゼンテーションをつくり上げた経験は卒業後もグローバル化するビジネスシーンで必ず生かされることと思います。



富山県立となみ野高等学校出身
中川 真優さん
文学部 / 人間学科4年

高校時代の挑戦を基盤に
新たなチャレンジの場へ

※各学生の学年は全て2021年11月現在

データで見る PASCAL入学生の成長実感

大学で身に付けたい力がアップ!

学生アンケートによると、本入試による入学生は、全学生平均と比較して、入学後、早期に自己の成長を実感しています。また、その後も高い割合で成長実感を持続していることがわかります。

異文化の理解能力

成長実感の全学生平均は 82%
PASCAL入学生の成長実感 87%

日本語コミュニケーション能力

成長実感の全学生平均は 71%
PASCAL入学生の成長実感 90%

他者と協力して行動する力

成長実感の全学生平均は 82%
PASCAL入学生の成長実感 86%

リーダーシップ能力

成長実感の全学生平均は 69%
PASCAL入学生の成長実感 89%

教員が語る PASCAL入学生が活躍する理由



アドミッションズセンター長 中山 雅司 教授

本学では多くの教員が授業で、「LTD」を含むアクティブラーニングを取り入れていますが、PASCAL入試は、LTD方式を採用しているため、PASCAL入学生は、入学後もその能力を十分に発揮して授業に臨んでいるこ

とが、好成績につながっています。2023年度入試から始まる「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、LTDの体験会を必須とする育成型のプログラムです。意欲ある受験生を大いに励まし、育てたいと考えています。

世界大学ランキング日本版2021 「国際性」で首都圏2位

イギリスの高等教育専門誌『タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE)』を運営するTES Global社発表の「THE世界大学ランキング 日本版2021」で、本学は近年連続し「国際性」分野でトップ10入り(2020年6位、2021年9位、首都圏ではいずれも2位)を果たしています。「国際性」は、海外への留学生、外国人学生、外国語による講座の比率などを根拠に算出されています。本学は文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」のもと取り組んできた、留学制度の充実や世界55の国と地域から集う留学生と共に学ぶ環境が高く評価されています。



「就職偏差値が上がった大学」 第1位 (中規模の部)

2021年3月、朝日新聞EduA(エデュア)にて発表された「就職偏差値が上がった大学」(中規模の部)において本学が1位に選ばれました。「大学の就職偏差値」は、株式会社大学通信が、主要企業*の採用者の出身大学と、各大学の平均難易度を組み合わせ算出する企業の入社難易度をもとに、「入社するのが難しい有名企業に、その大学からどれくらい就職しているか」を示しています。今回は、数値を2010年と20年で比較し、この10年間で企業からの評価が高まった大学が選ばれました。

*主要企業は、日経平均株価指数の採用銘柄や企業の規模、知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に選定されています。

Topics

2023年度入試より理工学部でもPASCAL入試を開始!

※選考方式は、従来のPASCAL入試と異なる方式で実施予定です。
※2022年に実施するPASCAL入試チャレンジプログラムについては対象外です。



SOKA University

創価大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel 042-691-2215 Fax 042-691-9300
www.soka.ac.jp/

▼大学公式サイト



▼受験生向けページ



Access

●バスで来学される場合

JR八王子駅の北口ロータリー内、11・12番もしくは14番(時間帯により変更)バス乗場から「創価大学循環」、または「創価大正門・東京富士美術館」行きのバスにて約20分。

●自家用車で来学される場合

中央自動車道「八王子IC」から約7分、圏央道「あきる野IC」から約12分。